

# 私立小中学校等に通う児童生徒の保護者の意識調査

## ◎アンケート調査について

この調査は、文部科学省が実施する「私立小中学校等に通う児童生徒への経済的支援に関する実証事業」によって、授業料支援を受けることを希望される保護者の皆様にご協力をお願いしているものです。

調査の目的は、私立小中学校を選択した理由やご家庭の経済状況などをお伺いし、経済的支援の在り方を検討することであり、ご回答の内容は、今後の施策を検討するために活用させていただきます。

なお、ご回答についての詳細をお聞きするため、文部科学省でヒアリング調査を実施する予定です。ヒアリング調査の対象となった場合、調査へご協力いただくこととなりますので、ご了承いただきますようお願いいたします。

## ◎記入上の注意点

- ① この調査は、保護者の方、お子様、ご家族についてご記入いただく項目と、Q1～8までの全8ページで構成されています。必ず最後まで、記入漏れのないようにご回答をお願いします。
- ② 【全員ご回答ください。】と書いてある設問は、すべての方がご回答ください。矢印がある場合は、流れに従ってご回答ください。
- ③ 質問には、1つだけ選ぶもの、当てはまるものすべてを選ぶもの、自由記述の3種類がありますので、よくご確認のうえご回答ください。
- ④ 支援を受けるためには、この調査にもれなく回答し、学校に提出することが必要です。回答に不備がある場合は、修正を依頼する場合がありますのでご了承ください。
- ⑤ 兄弟姉妹で申請している場合は、それぞれの児童生徒について申請書、調査票の提出が必要ですので、ご注意ください。

## ※個人情報の取扱いについて

- ご記入いただいた調査票は、回収用封筒に密封しご提出いただいた後、学校での開封を禁止するなど、情報管理には万全を期するようしております。
- ご回答はすべて統計的に処理し、特定の個人を識別できないようにいたします。
- ご回答いただいた内容は、調査の目的以外での利用はいたしません。また、調査票は集計完了後速やかに溶解処分いたします。
- ヒアリング調査の実施のため、次のページで保護者の方の氏名、住所等をお聞きしておりますが、文部科学省、都道府県、本事業の委託事業者以外に提供することはありません。

【全員ご回答ください。】

保護者の方とお子様について、以下の欄にご記入ください。

★ご回答者様（保護者の方）について

ふりがな  
氏名：(氏) \_\_\_\_\_ (名) \_\_\_\_\_

住所：〒 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

電話番号：自宅 \_\_\_\_\_ 携帯電話 \_\_\_\_\_

メールアドレス： \_\_\_\_\_

★児童生徒（お子様）について

ふりがな  
氏名・性別：(氏) \_\_\_\_\_ (名) \_\_\_\_\_ 男 ・ 女

学校名： 尚学館中学校 \_\_\_\_\_

学校のある都道府県名： 宮崎県 \_\_\_\_\_

学校種（どれか1つに○をする）：  
小学校 ・  中学校 ・ 義務教育学校 ・ 中等教育学校（前期課程）・  
特別支援学校（小学部）・ 特別支援学校（中学部）

学 年： \_\_\_\_\_ 年生

★上記の児童生徒以外で、この事業に申請している兄弟姉妹について

ふりがな  
氏名・性別：(氏) \_\_\_\_\_ (名) \_\_\_\_\_ 男 ・ 女

学校名： \_\_\_\_\_

学校のある都道府県名： \_\_\_\_\_

学校種（どれか1つに○をする）：  
小学校 ・ 中学校 ・ 義務教育学校 ・ 中等教育学校（前期課程）・  
特別支援学校（小学部）・ 特別支援学校（中学部）

学 年： \_\_\_\_\_ 年生

【全員ご回答ください。】

お子様から見た家族構成などについて、下の表に記入してください。

A：両親、兄弟姉妹、同居の祖父母及び生計を共にしている者（児童生徒本人は記載不要）

B：Aに記載する者以外に授業料を負担する者や児童生徒の生計を維持する者

「③職業」については下の【選択肢】から当てはまるカタカナを1つ選んでお答えください。  
2つ以上当てはまる場合は、その方にとって主な職業を1つ選んでお答えください。

A	児童生徒の家族構成	①	②	③	④
		番号	続柄 (児童生徒との関係)	職業 (「ソ.その他」の場合は職業名を記載)	申請時に課税証明書を提出する者 (○をつけてください)
A	児童生徒の家族構成	(例) 1	母	カ	
		(例) 2	養父	イ	○
		(例) 3	祖父	オ	○
		1			
		2			
		3			
		4			
		5			
		6			
		7			
		8			
B	児童生徒の生計を維持する者 上記のほか、授業料を負担する者や	(例) 9	実父	エ	○
		9			
		10			
		11			

【選択肢】

ア. 会社役員

イ. 会社員(正規職員)

ウ. 会社員(非正規職員)

エ. 公務員

オ. 自営業

カ. 専業主婦(主夫)

キ. パート・アルバイト(フリーター)

ク. 学生(ケ～シまでを除く)

ケ. 高校生

コ. 中学生

サ. 小学生

シ. 未就学児

ス. 無職(年金受給者)

セ. 無職(年金受給者以外)

ソ. その他

Q1.【全員ご回答ください。】

現在の学校に入学した理由として、次のQ1-1からQ1-4はどの程度当てはまりますか。それぞれ最も当てはまるもの1つに○をしてください。

Q1-1《特色のある教育を行っているため》

- 1. とても当てはまる
- 2. やや当てはまる
- 3. あまり当てはまらない
- 4. 全く当てはまらない

Q1-1-1「1. とても当てはまる」「2. やや当てはまる」を選択した場合、具体的な理由は次のうちどれですか。(○はいくつでも)

「5. その他」を選択した場合は、( )にその内容を記入してください。

- 1. 外国語教育を含めグローバル化に対応した教育を行っているから
- 2. 子供の自主性や創造性を伸ばす教育を行っているから
- 3. スポーツや芸術分野において特色のある教育や部活動指導を行っているから
- 4. 理数教育において特色のある教育を行っているから
- 5. その他 ( )

Q1-2《子どもへの個別の支援が期待できるため》

- 1. とても当てはまる
- 2. やや当てはまる
- 3. あまり当てはまらない
- 4. 全く当てはまらない

Q1-2-1「1. とても当てはまる」「2. やや当てはまる」を選択した場合、具体的な理由は次のうちどれですか。(○はいくつでも)

「5. その他」を選択した場合は、( )にその内容を記入してください。

- 1. 帰国子女に対する日本語指導を行っているから
- 2. 発達障害等に応じた特別な支援を行っているから
- 3. 不登校に対する特別な支援を行っているから
- 4. いじめなど人間関係の問題への対応を行っているから
- 5. その他 ( )

### Q1-3《学習・進学面のサポートが充実しているため》

1. とても当てはまる
2. やや当てはまる
3. あまり当てはまらない
4. 全く当てはまらない

Q1-3-1 「1. とても当てはまる」「2. やや当てはまる」を選択した場合、具体的な理由は次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

「5. その他」を選択した場合は、( ) にその内容を記入してください。

1. 充実した学習指導・進路指導を行っているから
2. 中学、高校、または大学までの一貫教育を行っているから
3. 授業の進度が本人の学力・理解度に合っているから
4. 進学実績が高いから
5. その他 ( )

### Q1-4《校風や生活指導、学校の伝統に魅力を感じたため》

1. とても当てはまる
2. やや当てはまる
3. あまり当てはまらない
4. 全く当てはまらない

Q1-4-1 「1. とても当てはまる」「2. やや当てはまる」を選択した場合、具体的な理由は次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

「5. その他」を選択した場合は、( ) にその内容を記入してください。

1. 校風、教育方針が合っていると考えたから
2. 宗教的に特色のある校風だから
3. 男女別学教育を行っているから
4. 道徳教育や生活指導を重視した教育を行っているから
5. その他 ( )

**Q2. 【全員ご回答ください。】**

児童生徒の教育費について、どの程度負担を感じますか。(〇は1つ)

- 1. 大いに感じる
- 2. ある程度感じる
- 3. あまり感じない
- 4. 全く感じない

**Q2-1. 【Q2で「1. 大いに感じる」「2. ある程度感じる」に〇をした方にお聞きします。】**

児童生徒の教育費について、どのような費用に対して負担を感じていますか。(3つまで選  
び、優先度が高い順に、番号を回答欄に記入)「9.その他」を選択した場合は、( )に  
その内容を記入してください。

- 1. 授業料
- 2. 施設整備費
- 3. 入学費
- 4. 通学費
- 5. 学用品費、通学学用品費(制服、鞆等)
- 6. クラブ・部活動費
- 7. 生徒会費、PTA会費
- 8. 学校外の教育費
- 9. その他( )

【回答欄】

優先順位		
1	2	3

Q3. 【全員ご回答ください。】

私立学校に入学した後、ご家庭の収入が急に(教育費の支払いが困難になるほど)減ることがありましたか。(〇は1つ)

1. はい

2. いいえ

Q4. 【全員ご回答ください。】

現在の学校に入学(転入)する前に、公立学校に通っていたことがありますか。(〇は1つ)

1. はい

2. いいえ

Q4-1. 【Q4. で「1. はい」に〇をした方にお聞きします。】

私立学校入学(転入)前の公立学校において、学校生活や人間関係上のトラブルによる悩みがありましたか。(〇は1つ)

1. かなりあった
2. 少しあった
3. あまりなかった
4. 全くなかった

Q5. 【全員ご回答ください。】

現在の学校へ入学(転入)した時期は、次のうちどちらですか。(〇は1つ)

1. 平成28(2016)年度以前

2. 平成29(2017)年度以降

Q5-1. 【Q5. で「2. 平成29(2017)年度以降」に〇をした方にお聞きします。】

現在の学校へ入学する前に、本事業のことを知っていましたか。(〇は1つ)

1. はい

2. いいえ

Q5-2. 【Q5-1で「1. はい」に〇をした方にお聞きします。】

現在の学校への入学を決定する際に、本事業があることがどの程度影響しましたか。(〇は1つ)

1. 影響した
2. どちらかと言えば影響した
3. どちらかと言えば影響していない
4. 影響していない

**Q6. 【全員ご回答ください。】**

昨年度（平成30年度）は、本事業に申請していましたか。（〇は1つ）

1. はい
2. いいえ

**Q6-1. 【Q6で「1. はい」に〇をした方にお聞きします。】**

昨年度申請したあと、実際に支援を受けましたか。（〇は1つ）

1. はい
2. いいえ

**Q6-2. 【Q6-1で「1. はい」に〇をした方にお聞きします。】**

昨年度支援を受けたことによって、どの程度経済的な負担軽減の効果がありましたか。  
（〇は1つ）

1. 大いに効果があった
2. ある程度効果があった
3. あまり効果がなかった
4. 全く効果がなかった

その理由や具体的な効果についてご記入ください。

( )

**Q6-3. 【Q6で「2. いいえ」に〇をした方にお聞きします。】**

昨年度申請しなかったが、今年度申請した理由は、次のうちどれですか。（〇は1つ）

「5.その他」を選択した場合は、（ ）にその内容を記入してください。

1. 昨年度は私立学校に在籍していなかったから
2. 昨年度は申請が面倒だったから
3. 昨年度に比べて家計が悪化したから
4. 昨年度は支援があることを知らなかったから
5. その他（ )



**Q7.【全員ご回答ください。】**

本事業は令和3年度までの実証事業ですが、その後も事業を継続するべきだと思いますか。(〇は1つ)

1. はい

2. いいえ

その理由をご記入ください。

( )

**Q8.【自由記述】**

本事業について改善点など何かお気づきの点があれば、ご記入ください。

( )

最後にもう一度回答内容の確認をお願いします。不備がある場合は修正を依頼することがあります。

- 全ての質問事項に回答しましたか。(確認後、左の口に✓をしてください。)
- 回答内容に間違いはありませんか。(確認後、左の口に✓をしてください。)

質問は以上です。ご協力いただきありがとうございました。